

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.1
平成25年4月11日

児童数は半減しても一貫で一番の学校をめざして

平成25年度がスタートしました。子どもたちにとっては、新しい教室、新しい先生、新しい仲間との出会いの4月です。分離して406名と半分以下の児童数になりましたが、この新しい出会いを大切にしながら、**1000人のパワーに負けない活力ある桜小学校を、教職員と児童とで「心ひとつ」に創り上げていきたいと思ひます。**今までは児童数で1番でしたが、今後は、学校の質の向上を図り、児童・保護者・地域が自慢できる桜小学校の創造を目指していきたいと思ひます。

分離に伴い、多くの教職員が異動しました。日の出小以外の学校へ転退職された方や転入された方をご紹介します。

「年々歳々、花相似たり。歳々年々、人同じからず」「会うは別れの初じめ」

【転退職】

上原 まゆみ教諭（退職）、半田恵美子養護教諭（退職）、小笹 郷永教諭（退職）
松永 恒子教諭（白鳥小へ）、長谷川 功教諭（伊福小へ）、小林 恵子養護教諭（七宝北中学校へ）
脇岡 睦教諭（大治中学校へ）、浅川 知美養護教諭（一宮市立開明小学校へ）

【転入者】

原 一郎教頭（秋竹小から）、木戸口 幸弘校務主任（佐織養護学校から）
遠藤 孝教諭（大治西小から）、山嵜 里子教諭（弥富中から）
伊藤 美咲養護教諭（北河田小から）、平井 恵子教諭（北名古屋市立白木中学校から）

平成25年始業式の話より（4／9）

他人を思いやる、温かい心をもち続けよう！

昨日、入学式が行われ、新1年生69名を迎え、406名の仲間たちです。分離して児童数は半分以下になりましたが、パワーは1000人規模の桜小のパワーを発揮できるように、みんなで活力ある素晴らしい桜小学校にしましょう。

さて、校長先生の今年度最初のお話は、これです。ドラえもんですね。みなさん、ドラえもんを知っていますか？2年～3年前に映画がありました。

やさしい心をもたないロボットが人間をつかまえて奴隷にしようと地球にやってきます。ドラえもんやのび太君、しずかちゃん達が、それをとめようとする中で、心のふれあいが生まれ、ロボットたちが、やがて、温かい心をもつというお話です。

そこには、戦いで壊れかけたロボットを必死に守ってあげたりする温かい心ののび太君達が活躍します。たとえ、冷たい心しかもっていないロボットであっても、敵であっても、他人を思いやる温かい心をもち続けたのび太君達は、ロボット達とともに友達になり、地球を守ることができたのです。

校長先生は、みなさんにも今年1年間、他人を思いやる温かい心をずっと大事にしてほしいと思ひます。寂しい気持ちでいる友達がもしいたら、言葉をかけてあげて下さい。

辛い気持ちでいる友達がもしいたら、話を聞いてあげて下さい。

この友達いやだなと思うことがあっても、のび太君達のようにその友達のことを思いやる温かい気持ちをもち続けられれば、必ず仲良しになれます。

今年1年、桜小のみんなですべて他人を思いやる心をもち続け、温かい気持ちがいっぱいあふれた桜小学校を創り上げましょう。

